

坂出市教育委員会点検・評価報告書  
(令和5年度事業)

令和6年7月11日  
坂出市教育委員会

## I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものである。

## II. 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、個々の施策、事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに、令和5年度における教育委員会の権限に属する事業についての点検・評価を各課で実施した。

点検・評価の客観性を確保するため、「坂出市教育評価委員会」を令和6年7月11日に開催し、教育に関し学識経験を有する委員の方々にご意見、ご助言をいただいた。

### 坂出市教育評価委員会

委員長	有馬	道久
委員	井上	博樹
委員	高橋	恵
委員	宮本	貴光

## III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、令和5年度において以下の活動を行った。

### 1. 委員構成

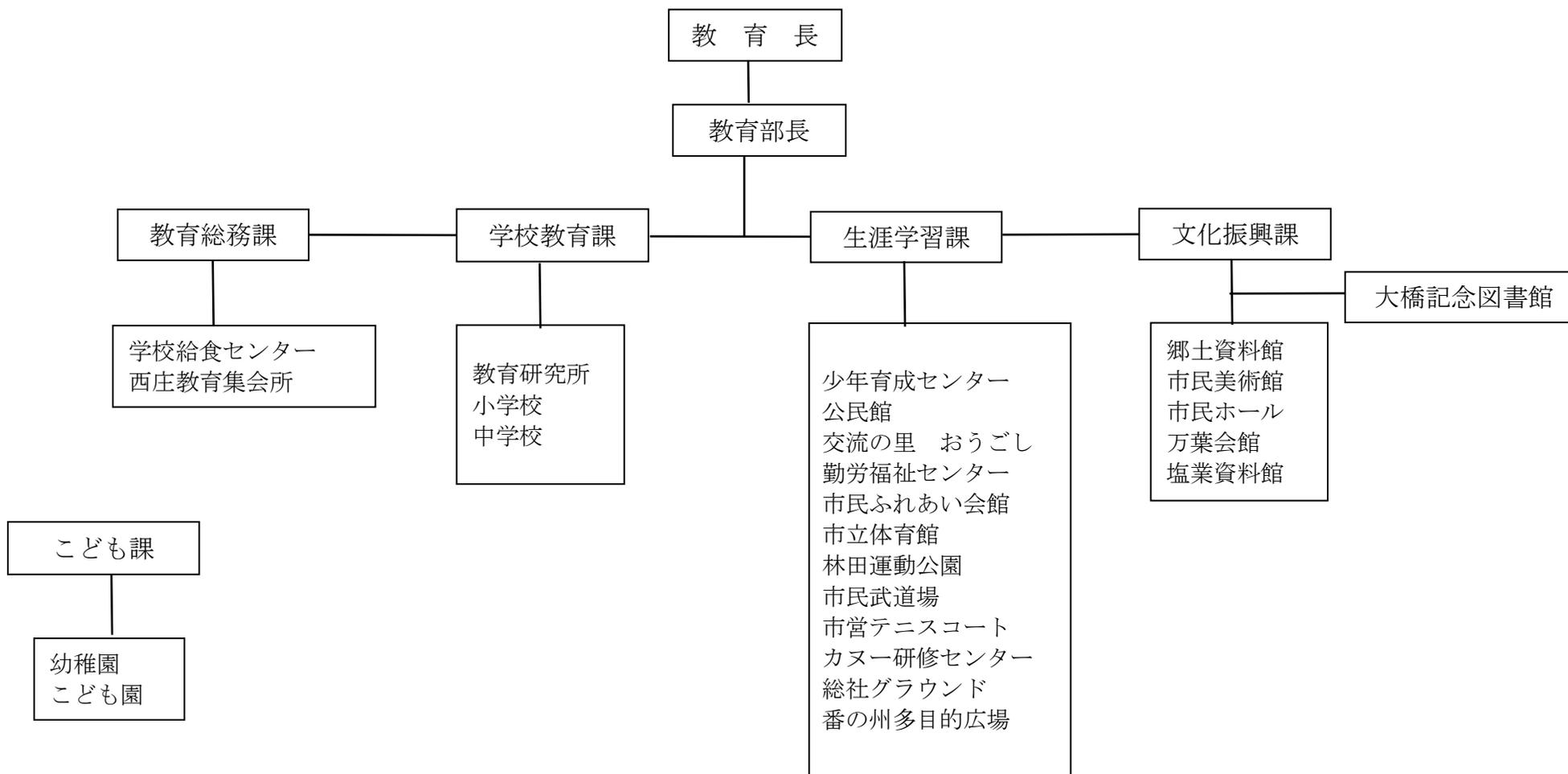
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正された。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていたが、新制度では市長が議会の同意を得て任命されることとなる。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、令和6年3月31日現在の委員構成は次のとおりである。

### 坂出市教育委員会

教育長 山田 知志、 委員 漆原 恵子、 委員 山地 誠治、 委員 林 陽子、 委員 川中 祥照

## 2. 教育委員会事務局の組織図



## 3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、令和5年度は合計14回開催した。

教育委員会定例会	12回開催	議案39件	報告55件
教育委員会臨時会	2回開催	議案2件	

#### 4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられる。

- (1) 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
  - (2) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
  - (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられている。

実施日	議 題
10月30日	教育大綱の改訂について
11月22日	教育大綱の改訂について

#### 5. 教育委員会のその他の活動

##### ①要請訪問

市立幼稚園3園、市立こども園3園、小学校9校、中学校4校をすべて訪問。

##### ②香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日 時 令和5年10月3日  
場 所 香川県庁県庁ホール（高松市）  
出席者 教育長・教育委員1名  
研修内容 講演「他を想い 自己を鍛える」学校を求めて

##### ③市町教育行政意見交換会

日 時 令和5年7月27日  
場 所 県坂出合同庁舎6階会議室（坂出市江尻町）  
出席者 教育長・教育委員1名

#### IV. 点検・評価の評価基準

次ページ以降に、教育大綱に基づく具体的施策の点検と、評価対象には事業評価シートを掲載している。

##### ●各課による自己評価基準

区分	評価内容
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

##### ●評価委員による評価基準

区分	評価内容
S	目標達成以上の効果があった。
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

# 坂出市教育大綱

## 基本理念

### 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

## 基本目標・基本施策

#### I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

#### II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

#### III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

#### V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

#### VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護

# I 生きる力をはぐくむ教育の充実

## ① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	<p>①外国語指導助手 ネイティブを指導助手として市内全小中学校に配置。小学校1・2年国際理解に各学年年間10h、3・4年外国語活動、5・6年外国語に1学級年間23h以上、中学校英語に1学級年間12h以上配置。</p> <p>②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備、理科室の整備等、理科の授業を充実するため、小学校7校に理科観察実験アシスタントを配置 (のべ450h)</p>	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し、学校からの要請に応じて派遣することにより、坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い、児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	<p>県内の公立小中学校において、教員として10年以上の勤務経験を有し、教育に熱意を有する退職教員を募り、適当と認められる者を登録し、学校からの要請により派遣する。</p> <p>退職教員は、小中学校において、派遣先小中学校長の指導のもと、学校経営課題（学力向上、個別指導、特別支援教育、生徒指導対応、教員の指導力向上など）を解決するための指導・支援の活動を行う。</p> <p>退職教員の派遣については、1回当たり4時間以内とする。(令和5年度 のべ1973h)</p>	平成30年度	○ P. 23

## ② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策（人格形成と規範意識の涵養）	学校教育課	不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動や虐待、体罰の未然防止や早期発見、早期対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、小中が連携して、児童生徒、保護者、教員の教育相談を行うことで、不登校における対応の充実を図る。また、市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。</li> <li>いじめについては、定期的なアンケート実施と、教員による観察を強化し、未然防止に努める。また、坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめを積極的に認知し、適切に対処するよう指導している。</li> <li>虐待については早期発見とともに、関係機関との連携により早期対応を図る。</li> </ul>	平成12年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定を図る。	<p>①不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」、白峰中学校に「であいの部屋」を設置していたが、令和5年度から東部中学校に「わかばの部屋」を増設し、5名の職員を配置した。</p> <p>②教育相談アドバイザー（新規事業） 市内3中学校に設置している教育支援センターの運営及び活動状況の把握、助言を行うと共に、市内小・中学校からの個別の教育相談、学校支援体制のコンサルテーションを行う。また、暴力行為等の反社会的な対応・支援を含む学校からの相談にも応じる。</p> <p>③校内サポートルーム 坂出小学校に校内サポートルームを設置。不登校支援においては、不登校状態を問題行動と捉えず、再登校のみをゴールとせず、児童生徒の社会的自立を目指し、「学びとつながる・人とつながる」児童生徒の支援が重要であるとし、空き教室を利用して、教室とは異なる雰囲気の内サポートルームを開設し、不登校傾向の児童生徒にとっての居場所や個別最適な学習機会を確保した。</p>	<p>①平成19年度</p> <p>②令和5年度</p>	

### ③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年、増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内市立小学校4年生、中学校1年生の全児童生徒を対象に、小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し、当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童生徒の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。</li> <li>・坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し、事前の効果的な啓発資料の作成、血液検査実施および事後の個別指導の内容、検査結果の分析など、解決方策を協議する。（令和5年度 2回）</li> </ul>	<p>平成24年度 (小学4年生)</p> <p>令和元年度 (中学1年生)</p>	

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。</li> <li>・特別支援教育支援員研修会を幼稚園・こども園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいのある状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。</li> </ul>	平成19年度	
		こども課	特別な支援が必要な幼児一人ひとりの特性や障がいに応じた支援を行い、その発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園・こども園に在籍する特別な支援や介助を要する幼児の特性や障がいの状態に応じ、各園1名～2名の特別支援教育支援員の配置をしている。</li> <li>・特別支援教育支援員の資質向上のため、県教育委員会特別支援教育課より講師を招請し、発達障がいのある幼児への理解を深める研修をしている。</li> <li>・支援が必要な幼児への支援や成長の過程等を月例報告や年度末のまとめで振り返り支援の改善を行っている。</li> </ul>	平成17年度	

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会 坂出市幼こ小中幼児・児童・生徒の人権展覧会	学校教育課	①坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。 ②坂出市幼こ小中幼児・児童・生徒の人権展覧会 市内幼こ小中の幼児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民啓発を図ることを目的とする。	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。発表校は、中学校3～4校、小学校4～5校、友情発表（綾歌郡中学校）1校である。 令和4年度より、会場を改修工事を終えた市民ホールに戻し、開催している。また、各校の発表を市内全小中学校、関係機関等に冊子として配布した。同時に、ホールにおいて人権展覧会作品の一部展示を行った。 ②「人権週間」に合わせて、市合同庁舎玄関（令和2年会場変更）において市内全幼こ小中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作品を展示する。令和3年度より土日も開催している。	①昭和56年度 ②昭和61年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
8	人権・同和教育だより P T A人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②P T A人権・同和教育研修会 P T Aが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とP T Aが協力し、保護者を対象とした人権研修会を企画・実施している。令和5年度は、全市立小中学校13校が実施し、総計2,212名が研修会に参加した。	①昭和51年度以前より発行	
9	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼こ小中人権・同和教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼こ小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研究を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・こども園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に現地研修（年2回）、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	①昭和56年度 ②昭和39年度	

## ⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	こども課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるよう、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。168千円で3園分。	平成20年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	こども課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼稚園やこども園の5歳児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、作法や情操を養う。	①令和5年度で、第16回の開催となる。感染症予防や衛生面での配慮をしながら、集合による茶道教室を実施した。 ②各園での茶道の地域指導者による茶道教室も合わせて実施した。	平成19年度	
12	幼稚園評価と保護者、小学校及び地域と連携した園づくり	こども課	保護者、小学校、地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	家庭や地域との連携を密にできるよう園だより・学級だより等の発行や写真・ドキュメンテーションの掲示等により、日々の子どもの姿や保育の意図を保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう工夫をしている。 令和5年度は、「坂出市就学前の子どもの教育・保育研究会」において、各園所のKIDSドキュメンテーションをもとに、公立幼稚園、保育所、認定こども園で学びを共有した。また、架け橋プログラム作成に向けて各園所の実態や今後の展望などを話し合い、現場で生きる学びとなった。	平成21年度	○ P. 23
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談・幼保こ小連絡会)	こども課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、こども課・けんこう課・学校教育課が連携して、子育て支援の充実を図る。	①令和5年度の実施については、感染症対策をしながら実施していった。国公立・私立幼稚園・保育所・認定こども園へ健診スタッフが出向き、事前調査や行動観察及び個別健診を通して、子どもの発達の状態を把握して、そこから見えてきた発達の特性を踏まえ、保護者との面談を行った。また、場合によっては、連携している関係各課や専門機関等へつなぐなど、個に応じた支援を実施した。 ②坂出市在住の令和5年度に5歳になる対象者332名のうち330名(99.4%)が受診した。未受診者2名については、1次健診を勧めた。 ③8月3日に市内の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の校区別連絡会を実施した。就学に向けて、各園所からの情報を小学校へ伝え、円滑な接続や切れ目のない支援体制づくりに努めた。	平成24年度	

## II 夢に向かって挑戦する教育の充実

### ① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	市内5校に講師を派遣し、講演会等を開いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂出小学校 東部小学校 令和5年11月2日(木) 芝原生活文化研究所 辻本 一英氏 講演 木偶箱まわし保存会 会長 中内 正子氏 公演 木偶箱まわし保存会 副会長 南 公代氏 公演</li> <li>・東部小学校 令和6年2月9日(金) 一般社団法人IINE 代表 田村 治仁氏 講演</li> <li>・金山小学校 令和6年2月8日(木) シンガーソングライターmon (高橋亜美) 氏 講演・歌</li> <li>・白峰中学校 令和6年2月8日(木) シンガーソングライターmon (高橋亜美) 氏 講演・歌</li> <li>・瀬居中学校 令和5年11月30日(木) ヴァイオリニスト 土田越子氏 講演・演奏</li> </ul>	平成24年度	

### Ⅲ ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

#### ① 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
15	ふるさと理解推進事業	学校教育課	豊かな自然や教育的・文化的な資源を活用して体験的な学習、探究的な学習を実施し、自分たちの住んでいる地域やふるさと坂出への愛着や誇りに思う心、郷土に貢献しようとする意欲や態度の育成に資する。	<p>○ふるさと学習の推進及び体験的な学習の充実</p> <p>身近な自然、歴史や文化、社会教育施設や人材などの地域の教育資源（ひと、もの、こと）や社会科副読本「ふるさと坂出」を活用した探究的な学習を進めてきた。</p> <p>実践指定校として小学校9校を継続し、ふるさと歴史探訪、府中湖カヌー競技場や交流の里おうごしを核にした体験活動、瀬戸大橋を核とした体験活動をはじめとして、地域の自然、伝統・文化、歴史、産業など、児童が興味・関心をもって楽しく学べるような教育活動を各校で工夫し、計画・実践した。その際、地域学校協働活動推進員の支援を得て、地域住民や地域の関係団体、地域の企業等と協働し、地域社会での豊かな体験の機会を増やし、地域の伝統や文化を大切にしている心情を育て、地域のよさを発信し、ふるさとをよりよくしていこうとする態度を育てる。</p>	平成26年度	

#### ② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	子どもの基本的な生活習慣、規範意識、道徳性をはぐくむため、学校、家庭、地域の連携を推進するとともに、創意工夫に満ちた教育課程の編成にもとづいた特色ある学校・園づくりを進める。	<p>園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の連携・協働活動に基づいた教育活動を実践する。</p> <p>①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観の実施（全幼小中）</p> <p>②広報活動 学校だよりや学校ホームページ、メール配信を活用した情報発信を実施した。ホームページのシステムを更新し、最新情報がより速く発信できるようになったことで、学校の様子が家庭や地域に伝わりやすくなった。</p> <p>③「社会に開かれた教育課程」の編成 新学習指導要領の全面実施から、小学校は2年目、中学校は初年度となり、趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施に取り組んだ。</p>		

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	学校運営協議会設置事業	学校教育課	学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換する仕組みである学校運営協議会制度を導入し、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。	平成29年度、東部中学校、府中小学校を、さらに平成30年度は坂出小学校を学校運営協議会制度の導入推進校（モデル校）に指定し実践研究を進めてきた。 その成果や課題を踏まえ、令和元年度、市内全小中学校を学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとした。 各学校運営協議会は、校長が作成する学校運営の基本方針を基に学校運営について協議し、地域住民等の参画を得て地域学校協働活動を推進している。 具体的には、登下校の見守り活動、合同防災訓練、学校内外の環境整備活動などについて、活動組織のもと運営している。	平成29年度	
18	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 (信頼される学校づくり)	学校教育課	各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者代表4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

##### ② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
19	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の5部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	①学校教育課題部会 「笑顔あふれる学校づくり」の実現に向けて ・坂出マスタープランおよびリーフレットづくり ②学校人権・同和教育啓発資料作成部会 人権・同和教育資料『心』小学校2年版、中学校2年版改訂 ③不登校・特別支援教育部会 ・講演「特別な支援の必要な児童生徒への関わりについて」 香川大学教育学部教授 坂井 聡氏 ・クリスマスの集い ④若年教員研修部会 ・若い教師の研修会 講話 スクールカウンセラー 佐藤晴彦氏 ・先輩教員の体験談から学ぶ、お悩み解消座談会 ※不登校・特別支援教育部会合同研修・連携研修 ※附属坂出小学校「わくわく授業づくりワークショップ」 附属坂出中学校「公開研究会」への参加 ⑤学校DX推進部会	昭和55年	○ P. 24

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象																																										
20	放課後子ども教室 推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>金山地区                             <table border="0"> <tr> <td></td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>テニス教室</td> <td>20回 256人</td> <td>21回 223人</td> </tr> <tr> <td>そろばん教室</td> <td>7回 109人</td> <td>5回 86人</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>3回 59人</td> <td>7回 137人</td> </tr> <tr> <td>集団宿泊体験学習</td> <td>未実施</td> <td>1回 10人</td> </tr> <tr> <td>お菓子、料理教室</td> <td>1回 12人</td> <td>1回 10人</td> </tr> <tr> <td>華道教室</td> <td>未実施</td> <td>1回 3人</td> </tr> <tr> <td>栽培・収穫体験教室</td> <td>2回 24人</td> <td>1回 8人</td> </tr> <tr> <td>絵画教室</td> <td>4回 18人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>稲刈り体験教室</td> <td>1回 24人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>粘土細工教室</td> <td>1回 6人</td> <td>2回 12人</td> </tr> </table> </li> <li>西庄地区                             <table border="0"> <tr> <td></td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>18回 73人</td> <td>20回 82人</td> </tr> <tr> <td>ポスター制作</td> <td>未実施</td> <td>1回 2人</td> </tr> </table> </li> </ul>		R4年度	R5年度	テニス教室	20回 256人	21回 223人	そろばん教室	7回 109人	5回 86人	ボール運動教室	3回 59人	7回 137人	集団宿泊体験学習	未実施	1回 10人	お菓子、料理教室	1回 12人	1回 10人	華道教室	未実施	1回 3人	栽培・収穫体験教室	2回 24人	1回 8人	絵画教室	4回 18人	未実施	稲刈り体験教室	1回 24人	未実施	粘土細工教室	1回 6人	2回 12人		R4年度	R5年度	ボール運動教室	18回 73人	20回 82人	ポスター制作	未実施	1回 2人	平成21年度	
	R4年度	R5年度																																														
テニス教室	20回 256人	21回 223人																																														
そろばん教室	7回 109人	5回 86人																																														
ボール運動教室	3回 59人	7回 137人																																														
集団宿泊体験学習	未実施	1回 10人																																														
お菓子、料理教室	1回 12人	1回 10人																																														
華道教室	未実施	1回 3人																																														
栽培・収穫体験教室	2回 24人	1回 8人																																														
絵画教室	4回 18人	未実施																																														
稲刈り体験教室	1回 24人	未実施																																														
粘土細工教室	1回 6人	2回 12人																																														
	R4年度	R5年度																																														
ボール運動教室	18回 73人	20回 82人																																														
ポスター制作	未実施	1回 2人																																														
21	放課後児童健全育成事業（仲よし教室・みのり教室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から6年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	<p>当初の設置以降、設置数を拡大し、現在、9校17教室及びみのり教室の計18教室を開室している。</p> <p>令和2年度より運營業務の民間委託を実施し、令和5年度からは現行事業者による運営を開始している。放課後児童支援員等の処遇の改善のため、子ども・子育て支援交付金を活用し、放課後児童支援員等処遇改善事業を実施した。</p> <p>環境整備の主なものとして、林田小学校仲よし教室Cにおいて空調機更新工事、加茂小学校仲よし教室Aにおいて空調機増設工事を実施した。</p>	昭和48年度																																											

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
22	学校給食センター 運営事業	教育総務課	令和4年度に整備された、学校給食センターにおいて、安心安全でおいしい学校給食を提供し、食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食センター運營業務委託料 221,082千円</li> <li>令和4年9月より学校給食センターからの給食提供を開始した。PFI事業者が行う業務の内容が要求水準を満たしているか定期的にモニタリングを行い、安心安全な給食を確実に提供するように努めている。</li> <li>令和5年度においても、前年に引き続き、坂出第一高校による給食メニュー開発を実施し、市内幼・小・中への給食提供を行った。</li> </ul>	令和4年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
23	小・中学校施設整備事業	教育総務課	<p>学校施設は、日常において子どもや教職員の生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担う。</p> <p>学校施設が常に健全な状態を維持できるよう適切な維持管理を行う。</p>	<p><b>小学校費 修繕料・工事費</b> 55,651千円 【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法点検による不良個所改善工事（加茂小外2校） 3,309千円</li> <li>・体育館床改修工事（林田小） 2,849千円</li> <li>・遊具整備工事（府中小） 4,180千円</li> </ul> <p><b>中学校費 修繕料・工事費</b> 47,777千円 【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェンス改修工事（白峰中） 6,202千円</li> </ul>	-	
24	教育用ICT環境整備事業	教育総務課	<p>一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校インターネットシステム機器更新事業 5年総額 45,408千円 G I G Aスクール構想により、約3,700台のタブレット端末が整備されたことに伴い、インターネットアクセス数が大幅に増加することから、インターネット回線を100MBから10GBに増強し、高速大容量通信に対応できるネットワーク環境の整備を行った。</li> <li>・情報通信技術支援業務委託 2,508千円 1人1台端末及び校務支援システム等のI C T機器の効果的な活用を目的として、情報通信技術の知見を有する者を学校へ配置し、積極的に支援を行った。</li> <li>・G I G Aスクール運営支援センター整備運営委託 6,600千円 1人1台端末の学習利用環境を向上させるため、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金を活用し、トラブルへの対応力強化や支援人材の育成等を行える支援基盤を構築する業務を委託した。</li> </ul>	令和元年度	
25	学校再編整備事業	教育総務課	<p>少子化に伴い学校の小規模化が進行していること、多くの学校で老朽化が進み施設の長寿命化改修や建て替えの時期を迎えていることなどから、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討が必要となる。</p>	<p>令和4年10月に「坂出市学校再編整備検討委員会」より、学校再編整備の基本的な考え方及び具体的方策について答申を受け、学校再編整備庁内推進委員会において、東部小学校、金山小学校、西庄小学校及び東部中学校4校の再編構想に関して協議し、前期5年程度を目途とする学校再編整備実施計画を策定するため、関係団体、地域住民、保護者等の関係者への説明会を開催した。</p>	令和3年度	○ P. 24

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
26	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心を体で感じる健康づくり 132人</li> <li>・若返る脳～脳トレで認知症予防～ 133人</li> <li>・ピンピンコロリで人生を全うするために！ 139人</li> <li>・歴史を学ぼう！白峰に眠る崇徳上皇の伝説 103人</li> <li>・人権講座</li> <li>「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」 84人</li> <li>・脳卒中について～脳の中で起こる凝固と出血とは～ 104人</li> <li>・災害に備えて</li> <li>～坂出市で想定される災害と備えについて～ 101人</li> <li>・終活を始める前の心づくり～もしバナゲーム体験～ 88人</li> <li>・天徳先生のおもしろ健康法</li> <li>「大脳の簡単な刺激・脳勝法で健康長寿」 120人</li> <li>・音楽で健康に！ 100人</li> <li>・映画観賞会「最高の人生の見つけ方」 148人</li> <li>・サクソ演奏会 2回 246人</li> <li>・ふるさと探訪（現地学習） 2回 276人</li> <li>※合計17回 1,774人</li> </ul>	-	
27	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケタリー 226人</li> <li>・漢字書道 165人</li> <li>・リトミック 96人</li> <li>・山野草栽培法 208人</li> <li>・英会話 165人</li> <li>・男性料理教室 78人</li> <li>・女性料理教室 66人</li> <li>・太極拳 222人</li> <li>・絵手紙 266人</li> <li>・げんだい書 221人</li> <li>・パソコン 222人</li> <li>全11講座 1,935人</li> <li>※料理教室2講座は後期のみ実施。</li> </ul>	昭和42年度	
28	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話 197人</li> <li>・美ューティBody Wave 484人</li> <li>・やさしいヨガ 427人</li> <li>・ちぎり絵 111人</li> <li>・カントリークラフト 225人</li> <li>・初心者の手編み 169人</li> <li>・フラダンス 160人</li> <li>・煎茶と礼法 90人</li> <li>・着装とマナー 91人</li> <li>全9講座 1,954人</li> </ul>	昭和52年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
29	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。 合計参加者数 1,991人	平成28年度	
30	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	王越まちづくりの会など各団体と連携しながら王越町の魅力を発信していく。また、さかいでっこ探検隊やトンボ学校などさまざまな体験イベントと通じて、施設を利用いただき、市民協働によるにぎわいの創出及び地域交流の促進を図る。 利用者数 3,753人	平成29年度	○ P. 25
31	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●わくわく！さかいでっこ探けん隊</li> <li>・王越とんぼランドで自然観察&amp;ビザ作りを体験しよう！ 32人</li> <li>・木の実を使ってトトロのかわいい世界を作ろう！ 37人</li> <li>・手軽にできる昼食とおやつを作ろう！ 24人</li> <li>・木工教室～県産ひのきを使って～</li> <li>『作って遊ぼう“ビー玉ころがしゲーム”』 26人</li> <li>・工作教室</li> <li>～動く仕組みを使って作ろう“クランク工作”～ 26人</li> <li>・ちぎり絵に挑戦！ 33人</li> <li>・坂出市内工場見学に行こう！ 34人</li> <li>・読売新聞坂出工場見学 37人</li> <li>・かわいい置物を作ろう「松ぼっくりの巣作り」 30人</li> <li>・協同食品“シャウエッセン”工場見学&amp;ウイナーの充填体験をしよう 28人</li> <li>・地元テレビ局“KBN”を探検しよう 53人</li> <li>・親子でカヌーを体験しよう！ 50人</li> <li>・親子でみかん狩りをしよう！！ 57人</li> <li>・木の実を使ったクリスマスリースを作ろう！ 28人</li> <li>・粘土で壁飾りを作ろう！ 29人</li> <li>※合計15回 524人</li> <li>●学ぶ！未来のトンボ学校 計4回 111人</li> <li>●SOMP0ボールゲームフェスタin坂出 220人</li> </ul>	平成15年度	
32	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における人権教育について 坂出市人権課課長補佐 丸尾 浩一 34人</li> <li>・私の歩んだ道～見えないから見えたもの～ NPO法人ヒカリカナタ基金理事長 元パラリンピック金メダリスト 竹内 昌彦 84人</li> <li>・同和問題を正しく理解するために 坂出市人権課課長補佐 丸尾 浩一 45人</li> <li>・杉原千畝と命のビザ 歴史評論家 上原 敏 32人</li> <li>※合計4回 195人</li> </ul>	-	

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
33	坂出市はたちのつどい	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨からはたちのつどいを行う。	令和6年のはたちのつどいについては、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことから、開催会場を市立体育館から市民ホールへ場所を戻して開催する。式典では、市長・議長からのお祝いのことば、記念品贈呈、はたちのことばなどを行い、式典後にスライド映像を上映する。  ※はたちのつどいまでに、各地区からの地区代表11名は7月より毎月1回程度会を開き、はたちのつどいの内容等について話し合う。  参加者数 417人	昭和25年度	
34	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り</li> <li>・ 生活文化展</li> <li>・ 地区敬老会</li> <li>・ 日赤・防災活動</li> <li>・ 市の行事の手伝い</li> <li>・ その他数多くのボランティア活動</li> </ul> 9団体 会員数3,598人	-	
35	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。  ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金  35団体 会員数1,331人	-	
36	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに、地域の安全・防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。	本市では、少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを毎日、午前1回・午後2回の3回実施しているほか、市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。また、青色防犯パトロール団体情報交換会を開催することで、パトロール活動についての理解を深めるとともに、意見交換を行って情報や課題の共有に努めている。	平成21年度 (補助制度創設)	○ P. 25

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
37	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動や地域で進める子ども体験活動に対して助成することにより、各地区の町民会議が実施する事業活動との連携を強化して、地域における「みんなで子どもを育てる」育成活動の充実を図っている。	平成13年度	

### ③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
38	市内三校高等学校野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。 3高校 約100人	昭和27年度	
39	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	令和5年度は、毎月2回まち歩きを行う「みんなで健幸ウォーキング」を実施し、合計で487人の参加があった。なお、総合型地域スポーツクラブ「みんなでスポーツさかいで」は令和5年度末をもって解散し、「みんなで健康ウォーキング」は市スポーツ協会の事業として、令和6年度以降も実施されることとなった。	平成21年度	
40	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	・市役所本庁舎、合同庁舎、教育会館の始業前のラジオ体操放送 ・各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し、毎朝6時30分からラジオ体操放送 7カ所にて実施  令和5年度は、坂出小学校体育館で第8回ラジオ体操大会を開催し、87人の参加があった。	平成25年度	
41	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	カヌー競技の普及、競技力の向上や、スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進、地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。	・競技の普及と競技力向上 ・親子・一般カヌー教室の開催 1件 52人 ・子ども会等カヌー体験 5件 208人 ・県内小学校からのカヌー体験 9件 413人 ・県外からの合宿及び練習利用 1件 10人 ・カヌースプリントジュニア・パラカヌー日本代表選手選考会および府中湖レガッタ開催	平成27年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
42	ふるさと坂出スポレク大会	生涯学習課	四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として、市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し、地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。	各地区でチームを構成し、競技成績により順位・得点を付ける得点競技と、いくつかの行事への参加人数等によって、地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。 得点競技 アジャタ、地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操、老人クラブスポーツ大会  令和6年度より、ふるさと坂出スポレク大会に代わる行事を開催することとし、令和5年度はその準備・検討期間としていたため、大会は実施しなかった。	平成28年度	
43	市営テニスコート改修事業	生涯学習課	市営テニスコートの夜間照明設備を全面改修し、夜間のプレー環境の改善を図る。	市営テニスコートの夜間照明は、平成9年に増設を行った以外は、昭和56年度の取り付け以降変更しておらず水銀灯のままであり、経年劣化により照度も落ち利用者から暗いとの声も挙がっていたため、水銀灯からLEDへの交換を実施した。 また、支柱の老朽化による部品落下・倒壊等の危険もあったことから、古い支柱を全て撤去し、新規支柱と交換した。  工期 令和5年11月30日～令和6年2月29日 事業費 34,927,200円 内訳 脱炭素化推進事業債 17,000,000円 スポーツ振興くじ助成金 16,000,000円 一般財源 1,927,200円	令和4年度	○ P. 25

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
44	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心に利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館三相変圧器取替工事 1,952,500円	昭和54年度	
45	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度	
46	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 秋の読書週間イベント 参加人員 29人 「録音の会」 参加人員 61人 春の読書週間展示「ひらけ！アートのトビラ」、「教科書展示」、秋の読書週間展示「うたにふれる」他、毎月展示を行う。広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度	
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	坂出市子ども読書活動推進計画（第4次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。 読みメンプロジェクトイベント 参加人員 41人 出前事業イベント 参加人員 73人 ボランティア育成講座イベント 参加人員 22人 「ブックスタート」（贈呈率100%） 参加人員 266人 「おはなし会」 参加人員 247人 「紙芝居の会」 参加人員 98人 「わらべうたであそぼう」 参加人員 259人 「としょかんカンガルータイム」 参加人員 205人 「天体観察会」 参加人員 233人 「外国語絵本よみかかせ」 参加人員 75人 児童書年間貸出数 R5年度 183,807冊 数値目標 200,000冊	平成18年度	○ P. 26

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
48	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	市制施行70周年から10年計画で実施したフォトコンテストの総集編として開催した写真さかいでの四季展は、年代ごとに3期に分けてそれぞれの代表作品約90点ずつ計270点展示。 8月の企画展「坂出ふるさと物語展」では坂出市内在住の高都誠二氏が収集した、坂出市内を写した明治・大正・昭和のガラス写真乾板コレクションを紹介したほか田邊元氏が生前収集した坂出市に関連する資料や絵葉書、坂出市民美術館が所蔵する長田晴雄氏の撮影した戦後の坂出市を紹介した。 継続展としては、書道、障がい者アート、現代童画、公募ジュニア、現代仏像、収蔵品展などを実施した。	昭和61年度	○ P. 26
49	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島である沙弥島に市民が親しむ機会を提供する。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	柿本人麻呂の長歌を陰刻した茶器で煎茶とともに万葉集の響きを楽しむ「万葉茶会」や、伝統文化の人形浄瑠璃公演を行った。また、沙弥島の歴史への理解を深めるため、粘土でミニ土器を作るワークショップを開催した。 ・ 5月7日 第36回狭岑島万葉茶会 158人 ・ 8月1日 万葉まつり「沙弥島でミニ土器を作ろう！」 13人 ・ 10月13日 音楽人形演劇「この地球・この国・この故郷に生まれて生きる」 25人		
50	坂出歴史文化講座(レキブンコウ)	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらおう。	香川県立坂出高等学校にて沙弥島に関する歴史や文化に関する講座や府中町で行われている「讃岐国府まつり」に併せて、讃岐国府跡や開法寺跡に関する講座を開催した。 ・ 5月12日「万葉「沙弥島」の歴史文化」 26人 ・ 12月10日「讃岐国府まつり」 190人	平成25年度	
51	文化芸術事業	文化振興課	ふれあい会館、教育会館、美術館等の文化施設を活用しながら、市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め、文化振興を図る。	・ 毎月第3日曜日 「ひついでし福王寺・夢・アート・スタジオ日本画展」 延べ45人 ・ 6月17日、6月18日 演劇公演「石を食べた男」 523人 ・ 7月29日、8月20日、12月25日 「ひついでし福王寺・夢・アート・スタジオ造形教室」 41人 ・ 8月27日「グループV i V i ピアノコンサート」 388人 ・ 9月30日「よんでんアンサンブルコンサート」 299人 ・ 10月20日～10月22日「坂出囲碁フェスティバル」 487人 ・ 10月28日「夜の美術館コンサート」 52人 ・ 12月3日「第3回子ども芸術学校」 延べ90人  ・ 3月30日、3月31日 展覧会「いのりのとき 福王寺一彦」 278人	平成26年度	○ P. 26

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
52	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3、4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	毎年、小学3・4年生等を対象に塩業資料館の見学ならびに塩の実験を実施し、塩づくりで発展してきた郷土の歴史について学習した。 ・校外学習 林田小学校 61人、坂出小学校 109人、東部小学校 57人 計227人	平成25年度	
53	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査、土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査、また工事の際における現場での立会などを行い、貴重な埋蔵文化財を保護する。	土木工事や民間施設の建設工事等に先立ち、工事立会、確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護を図った。 ・文化財保護法第93条関係 9件 ・文化財保護法第94条関係 4件	平成3年度	
54	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定されたことから、調査指導専門委員会を開催し、具体的に調査内容等の検討を進め、国の史跡指定を目指す。また、保存活用検討会議を開催し、今後の讃岐国府跡の保存、活用方法を検討する。	・讃岐国府跡調査指導専門委員会を2回(6月1日、2月6日)開催し、国への意見具申にむけた総括報告書の内容や評価について検討を行った。 ・讃岐国府跡発掘調査報告会を3月20日に開催し、あわせて徳島文理大学教授 大久保 徹也氏による「なぜ綾北平野に国府が置かれたか？-讃岐国府の成立事情を考える。」と題した講演会を実施した(110人)。	平成26年度	
55	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理(主に除草)を実施すること。また、市内の文化財所有者や保護団体に、保存、管理、活用に必要な費用を補助することを通じ、貴重な文化財の保護活用に努める。	・指定文化財等周辺の除草、剪定 ・指定文化財の保存、管理、活用に対する補助 ・8月28日 文化財保護審議会開催	昭和56年度	

# 評価対象事業

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価		
2	さかいでスクールサポート ティチャー派遣事業	学校教育課	<p>平成30年度から始まった本事業は、学校で起こる児童生徒の様々な問題(学力向上、生徒指導、特別支援など)及び教職員の指導育成に、ベテランの退職教員の力を借りて、より迅速かつ適切に対処している。</p> <p>学期途中で困難な状況に陥り、それを打開するために緊急派遣を希望する学校への対応に加えて、外国籍の児童・生徒の日本語指導にも成果を上げることができ、誰一人取り残すことのない学びを支えるものとなっている。</p> <p>令和5年度各校からの派遣希望時数は2,500時間を超えているが、派遣実績は1,973時間であり、派遣希望の76%にとどまった。</p>	B	子どもたちの未来を切り拓く力を育むために、少しでも各校の派遣のニーズに対応していきたい。また、教職員の働き方改革の視点からも学校の安定化や望ましい職場環境づくりにつなげていきたい。	A	充実

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価		
12	幼稚園評価と保護者、小学校及び地域と連携した園づくり	こども課	<p>市立幼稚園、保育所、認定こども園の保育教諭が入れ替わりながら、「みんなでつくる坂出らしい就学前教育・保育～幼児理解や保育内容・評価を深めるために～」を目標にして、香川大学松本教授の指導を受けながら自ら学ぶ意欲を重視しつつ進めていった。</p> <p>坂出市の幼児教育保育施設の小規模であるよさや強みを見つけながら研究を進めていくことで、相互理解が図られた。令和5年度は、各園所のドキュメンテーションをもとにしたカンファレンスと、架け橋プログラム作成に向けての情報共有と共通理解を行った。</p> <p>幼保連携型認定こども園の設置に伴い幼稚園・保育所の保育教諭の相互理解や小学校との情報共有・共通理解が図ることができた。今後、さらに市内就学前施設において、ニーズにあった地域の子育て相談機関としての資質能力の向上の必要性があるため、B評価とした。</p>	B	<p>計画していた坂出市立幼保連携型認定こども園化が完了する令和6年度をもって、今研究会についても結びとしたいと考えている。そのため、集大成となる令和6年度には、勤務先とは異なる保育施設で1日保育体験をし、新たな気づきから、幼児教育・保育の充実につなげていく。</p> <p>次年度以降については、市内の就学前施設等を対象とした研修会を実施し、教職員等の資質・能力の向上、また、園所の子育てステーションとしての機能の役割に向けた体制づくりを図っていく。</p>	A	その他 (発展)

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価	
19	教育研究所の研究・研修事業（信頼される学校づくり）	学校教育課	<p>喫緊の教育課題を積極的に取り上げ、教員一人一人の資質能力の向上を図る視点から研究内容が工夫されている。</p> <p>特に不登校・特別支援教育部会では、特別な支援を必要とする児童生徒の状況を適切に把握し、多様な支援を実施することが必要であることから特別支援教育の専門家（研究者）を講師として招聘し講演会を開催した。</p> <p>5部会の研究は紀要にまとめ、市教育研究所HPで公開している。教育研究所所員のみならず、市内全小中学校の教職員の指導力向上に大きく寄与しており、その成果は高く評価できる。</p>	A	<p>各部会においてよりよい教育活動と教職員の資質向上のために理論と実践を行う。特に、学校教育課題部会では、小中一貫・連携教育、小々連携・中々連携教育の具現化を目指し、「笑顔あふれる学校づくり」をテーマとして、各学校が目指すべき教育活動の在り方についての研究に取り組んでいく。</p> <p>今年度は、（一財）基礎教育保証研究所理事長 城之内庸仁氏を招聘し、不登校をはじめ、発達や家庭に起因する課題を抱える児童生徒への対応が喫緊の課題について、若年職員を中心に講演していただく。</p>	A 継続

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価	
25	学校再編整備事業	教育総務課	<p>先進事例として、大阪府守口市及び高知県宿毛市、高松市の小中一貫校への現地視察を行った。</p> <p>学校再編整備庁内推進委員会を8回開催し、検討を重ねたが、関係者等の意見のとりまとめに時間を要し、年度内に前期5年程度を目途とする学校再編整備実施計画を策定できなかった。</p>	C	<p>令和6年5月に策定した坂出市学校再編整備実施計画を基に、令和11年4月の開校に向け、施設の内容や規模、設計・建設スケジュール及び事業手法や業者選定方法などの整備方法を含めて検討し、令和6年度中に建設基本計画を策定する。</p>	A 継続

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価
30	交流の里 おうごし	生涯学習課	<p>令和5年度についても、令和3年度までのような休館もなく、利用者数・使用料ともに増加した。</p> <p>令和5年度では、料理実習室の整備と設備の工事を行った。これにより、これまで以上に地域住民の利便性を向上させ、地域のにぎわいづくりにつながった。</p>	<p>令和6年度も王越まちづくりの会など各団体と連携しながら王越町の魅力を発信していく。また、さかいでっこ探けん隊で自然観察会をしたり、トンボ学校などさまざまな体験イベントを通じて、施設を利用してもらい、市民共働によるにぎわいの創出および地域交流の促進を図っていく。</p> <p>令和6年度より、民間ニーズへの対応として、条例改正を行い、施設使用の範囲を定め、さらなる平日の稼働率の向上や使用料収入の増額に努めていく。</p>	A 継続

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価
36	青色防犯パトロール運行活動事業	生涯学習課	<p>各地域の実施計画に基づき、児童生徒の通学時間帯や通学路等に合わせて計画的にパトロール活動が行われている。令和5年度の不審者事案は11件と、18件を下回り、令和4年度より7件減少した。目標値は達成できた。不審者の情報は、FAXや電話により青色防犯パトロール団体の代表に迅速に発信することで素早く情報を共有し、重点パトロールに生かしている。</p> <p>また、「青色防犯パトロール団体情報交換会」を開催し、効果的なパトロール活動について研修を行うとともに、各地区の状況や活動の担い手づくりなどの課題についても広く意見交換を行い、「安全・安心なまちづくり」に向けて地道な活動が実施されている。</p>	<p>不審者情報の受理件数は令和4年度から7件減少したものの、暴言を吐かれ執拗につきまとわれたりするなど、一つ間違えれば大きな事件に発展しかねない事案が後を絶たない。</p> <p>さらに、11件中8件が中心市街地で発生しているため、中心市街地の歩き見回りや下校時の立哨を推進するとともに、地域の青色防犯パトロール団体との連携を強化し、通学路を重点的にパトロールするなど、「安全・安心なまちづくり」に努めていく。</p>	A 継続

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価
43	市営テニスコート改修事業	生涯学習課	<p>夜間照明設備の改修により照明が明るくなり、夜間のプレー環境が改善された。</p> <p>新しい照明でプレーしたかたに利用者アンケートを行ったところ、96%のかたがプレーしやすくなったと回答しており、利用者にも喜ばれている。</p>	<p>引き続き、老朽化している設備の改修等について、優先度の高いものから実施していく。</p>	A 継続

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	自己評価	今後の方向性	委員評価		
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	<p>従来の館内定例行事を継続実施したほか、図書館主催の講演会や出前授業などを従来どおり実施することができた。一方で図書館学習や職場体験学習、また共催イベントを通して地元の小・中学校や高校と連携し、子どもたちへの読書意欲の向上に努めた。</p> <p>また、館内の展示を工夫したり、多くのイベントを開催するなかで読書推進を図った。</p> <p>このような取組のなか、児童書年間貸出数は、目標の20万冊に届かず、令和5年度実績として18万3,807冊であった。</p>	B	<p>坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、今後も引き続き読み聞かせボランティアなどの行事を市民と共同で開催していく。</p> <p>また、子どもたちが本に触れる機会を増やすため、関連部局と連携し、読書環境の充実に努めていく。</p>	A	充実
48	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	<p>写真さかいでの四季展では現在の坂出市の風景写真を展示し、坂出ふるさと物語展では、以前の坂出市を写真や資料、絵葉書を通して知ることができ、現在との違いや新たな坂出市の魅力を再発見することができた。しかし、目標入館者数25,000人には及ばず実績は19,591人だった。</p>	B	<p>これまで絵画や彫刻、写真などの展覧会を、年間7件程度企画し、開催してきた。開催内容は優れた郷土作家の発掘や市民、郷土にスポットを当てた企画であった。</p> <p>今後は、それに加えて新たな価値の創造を目指し、世界に目を向けたグローバルな企画を考えていく。</p>	A	継続
51	文化芸術の振興「文化芸術事業」	文化振興課	<p>令和5年度は、市民ホールの企画事業として「スタインウェイピアノリレーコンサートin坂出市民ホール」を実施したほか、「グループV i V i ピアノコンサート」、「よんでんアンサンブルコンサート」、演劇公演「石を食べた男」、「坂出囲碁フェスティバル」を開催した。</p> <p>また、令和4年度に引き続き「第3回子ども芸術学校」を開催したほか、郷土の芸術家による事業として、親子を対象とした「冬の親子ワークショップ」、坂出高校出身の演奏者を招いての「夜の美術館コンサート」を開催した。</p> <p>万葉会館では、人形浄瑠璃に音楽を組み合わせて、伝統文化を身近に感じられる公演を開催した。櫃石島では、日本画家の福王寺一彦氏の「福王寺一彦アート講座」、「ひついで福王寺・夢・アート・スタジオ日本画展」をそれぞれ開催し、市民が芸術作品を鑑賞しワークショップで芸術に触れる機会の創出を図った。</p>	A	<p>新たな地域文化の創造に取り組むため、図書館、市民ホール、美術館などの文化施設を活用した芸術文化の学びの場の提供や親しみやすい環境を創出し、芸術文化の振興を図ります。</p>	S	継続